

## 令和3年度 事業報告について

新型コロナウイルス感染症蔓延による公共施設の休館や学校の休業、企業の事業停止や在宅勤務の推奨による就労の減少といった社会経済に大きな打撃となった前年度に比べて、感染防止対策の徹底を行いながらワクチン接種の広がりによって回復基調となっはいるものの、変異株による罹患者数は終息に向かうことなく一進一退の状況が続いています。

当センターの業績も大きな回復には至っておらず、事務費率の改訂による受取事務費の差益により経常費用額をやや上回った額となっています。

新年度では、高齢化社会の到来をチャンスと捉えて、会員の増強と幅広い就業先の確保を最重点項目としてセンター運営を進めて行きます。

本年度の受託事業実績は受託件数で2,079件となりました。就業延人数は35,851人で4.1%増、就業率は79.1%で前年比0.6ポイント増加しました。

契約金額は1億3,550万円余りで、内訳は公共関係で約4,271万円、民間事業所で約5,407万円、一般家庭で約3,714万円、独自事業で約158万円となり、対前年度約796万円の増額となりました。

労働者派遣事業においては、契約件数174件で、就業延人数は13,618人、契約額は5,876万円余りとなりました。内訳では公共関係で約3,317万円、民間事業所で約2,558万円となりました。今後も引き続き適正な就業先の確保を念頭に努めていく必要があると考えています。

また、会員の働きやすい環境と安全性を高めるために職群班との連絡調整にも配慮しながら円滑な運営に努めました。

会員数については、前年度末432名に対し、令和3度末は430名と2名減少しました。会員全体の平均年齢は74.4歳と前年度に比べ若干上がっています。男女別では男性が74.8歳、女性が73.7歳で、会員の最高年齢は89歳です。粗入会率は市の60歳以上の人口15,593人に対し2.76%となっています。

以下、事業実施状況の概要を報告いたします。

## 1. 会員の加入状況

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
令和3年3月31日	260	172	432	
中途入会者数	37	15	52	
中途退会者数	31	23	54	
差引き増減	6	△8	△2	
令和4年3月31日	266	164	430	対前年2人減

(地区別会員数)

単位：人

区 分	男	女	計	摘 要
根上地区	103	83	186	
寺井地区	92	49	141	
辰口地区	71	32	103	
計	266	164	430	

## 2. 受託事業の実績

区 分	令和3年度	令和2年度	差 引	前年度比
受注件数 (件)	2,079	2,178	△99	△4.5%
就業延人数 (人)	35,851	34,415	1,436	4.1%
契約金額 (円)	135,507,883	127,549,612	7,958,271	6.2%
就 業 率 (%)	79.1	78.5	0.6	0.7%

(契約金額の内訳)

単位：千円

区 分	令和3年度	令和2年度	差 引	前年度比
公 共	42,712	38,006	4,706	12.3%
民間事業所	54,068	50,778	3,290	6.4%
一般家庭	37,144	37,124	20	0.05%
独自事業	1,583	1,641	△58	△3.5%
合 計	135,507	127,549	7,958	6.2%

### 3. 労働者派遣事業の実績

区 分	令和3年度	令和2年度	差 引	前年度比
契約件数 (件)	174	177	△3	△1.6%
就業延人数 (人)	13,618	13,598	20	0.1%
契約金額 (円)	58,760,310	53,835,433	4,924,877	9.1%

(契約金額の内訳)

単位：千円

区 分	令和3年度	令和2年度	差 引	前年度比
公 共	33,172	30,503	2,669	8.7%
民間事業所	25,588	23,332	2,256	9.6%
合 計	58,760	53,835	4,925	9.1%

### 4. 安全・適正就業の徹底

#### (1) 会員の安全・適正就業の向上

屋外技能作業班の会員を対象に安全講習会を開催しました。

#### (2) マイクロバス安全運転研修会の実施

マイクロバスを運転する場合、加齢によって生ずる体力の衰えが反射神経や動体視力等に影響します。不注意、油断等に起因する事故を防止するために、七尾自動車学校の教官を講師に迎え、人的輸送業務に携わる会員10名が安全運転研修を受講しました。

#### (3) 事故発生件数

事故件数は20件でした。

重篤な状況にならなかったものの、少しの気の緩みで重大な結果になりうる事故もあり、無理せず、安全を確認して作業に携わることに心掛けていくことが重要であります。事故件数の上位を占める刈払機による飛び石事故には、十分注意しながら事前の安全確保をしながら作業にかかるよう注意喚起をしました。

#### 事故発生件数

傷害保険事故	7件
賠償責任保険事故	6件
その他事故	7件

## 5. 普及啓発活動の推進

シルバー人材センターの啓発宣伝とボランティア活動を兼ねて下記の活動を実施しました。

- (1) 二年ぶりの開催となった『感謝祭』は、すば一く寺井を会場として丸いも・ゆず・自家製野菜の販売に加えて、つきたて餅の無料配布を行いました。
- (2) 12月28日に各地区会員が門松づくりを行い、市役所本庁舎、能美警察署、能美ふるさとミュージアム、根上総合文化会館、寺井地区公民館、辰口福祉会館、里山の湯、センター事務所の8カ所に門松を設置しました。新聞記事にも取り上げられ、センター事業の啓発とPRに効果がありました。
- (3) 能美市の地域振興作物のひとつである「国造ゆず」は、主な生産団体である国造ゆず生産組合が後継者の人材不足等が課題で安定的な生産につながっていないことから、シルバー会員有志による同好会が市農林課と連携しながら生産組合の下支えを図っているところです。
- (4) 毎月第2・第4金曜日に、ハローワーク小松において開催している出張相談は10月から再開され、相談件数は26件となりました。

## 6. 独自事業「加賀丸いも」栽培の実施

加賀丸いも栽培は、40アールの作付け分の収穫を終えました。

丸いも出荷量はJA根上へ1,985kg、個人・団体の顧客には1,517kgを販売し、ほぼ全収量を完売することが出来ました。売上額は2,015,335円となりました。